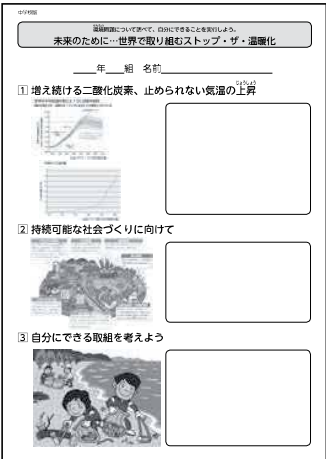


環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与え、3Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。
本指導資料では、環境教育掲示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。 未来のために…世界で取り組むストップ・ザ・温暖化



環境学習の視点 自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい 深刻化する地球温暖化の現状と課題について、世界の最新の取組を知るとともに、持続可能な開発をめざす国連のSDGsについて理解し、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①、②を見て、地球温暖化が深刻な状況をもらしていることを知る。 持続可能な社会づくりに向けて、自分にできる取組を考えよう	◇産業化以前と比べた気温上昇1.5℃目標を強調したIPCC「1.5℃特別報告書」グラフを基に、温暖化防止への取組が世界の緊急課題となっていることを伝える。	◆掲示用教材①、② ◆ワークシート①
○掲示用教材③を基に、これまで学んできた再生可能エネルギーや3Rなどを含めた、持続可能な社会のイメージについて、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。 ○掲示用教材④を参考に、国連が掲げるSDGs持続可能な開発の17のゴールの中に、環境関連の目標が多く盛り込まれていることを知る。 ○掲示用教材⑤を参考に、先進国と途上国が目標を共有したパリ協定の具体化や、IPCC「1.5℃特別報告書」など、地球温暖化防止に向けた取組が加速していることを知る。	◇イラストを参考に、自然エネルギーの拡大、3Rの推進、ゼロエミッションカー（電気自動車・燃料電池自動車）の導入など、脱二酸化炭素と持続可能な社会づくりをめざす様々な取組が行われていることを理解させる。	◆掲示用教材③、④、⑤ ◆ワークシート②
○掲示用教材⑥を基に、自分にできる取組について考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 ◇生徒一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	◆掲示用教材⑥ ◆ワークシート③

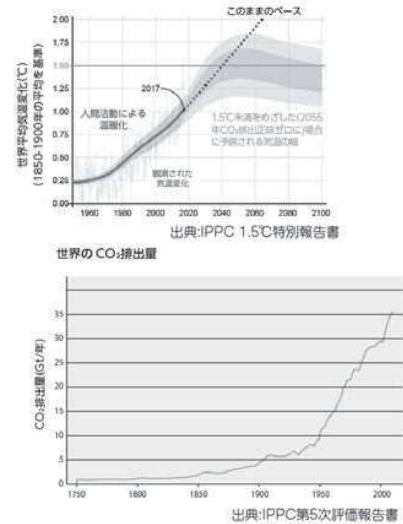
かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。

未来のために…世界で取り組むストップ・ザ・温暖化

年 組 名前

1 増え続ける二酸化炭素、止められない気温の上昇^{じょうしやう}

世界の平均気温の変化と1.5℃目標の関係
最新の報告では、温暖化を1.5℃で止めることが重要とされている



2 持続可能な社会づくりに向けて



3 自分にできる取組を考えよう

